

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第190号

発行日 2017年9月1日発行

8月6日 会宝リサイくるまつり

皆さまこんにちは、社長の近藤です。8/6に「第7回リサイくるまつり」を開催しました。

今年も1,800人を超えるたくさんの方にお越しいただきました。しかし今年のご目標は、来場者数ではなく顧客満足度に設定しました。初心にかえり、みんなで「どんな時でも笑顔」を意識した結果、昨年以上のアンケート結果をいただきました。

また今年も新たな試みも行いました。それは大学とのコラボレーションです。近隣の3	アンケート結果	2016年	2017年
	とても良かった	80%	84%
	良かった	20%	16%
	あまり良くなかった	0%	0%
	良くなかった	0%	0%

つの大学（星稜大学、北陸大学、金沢工業大学）と協力をして、総勢24名の学生の皆さまと共に、お客様をお迎えして、新しい企画も生まれました。それは廃材を使った輪投げコーナーと、私たちが業務で使っている工具等の重量あてクイズです。

今回のコラボレーションで、良い社会人経験の場を提供できたならば幸いです。一方で私たちも若いエネルギーと良い刺激をたくさんいただきました。何でこんなに、はちきれそうな笑顔が出せるんだろ

うという学生さんもいましたし、今後もこのような関係を大切にしていきたいと考えています。

また昨年同様企業様からのご支援も賜り、今年は県外の企業様からもサポートをいただきました。

そして私たちの業務に即した解体セミナーという新しい企画も行いました。お客様からいただいたアンケートには、わからないことを聞く質問コーナーがあって良かったという声もいただきました。

この「リサイくるまつり」を通して、リサイクルについて少しでも身近に感じていただき、これからの時代において、大切さを感じていただければ嬉しいと思っています。



● 今月の出番 ●
国際業務部
フラム7 ドストンジョンさん

こんにちは。ウズベキスタン出身、国際業務部のドストンです。
今年の4月に会宝産業に入社して5ヶ月が経ちました。入社するまでは1年と3ヶ月間、東京で日本語を学んでいました。

また、海外の事は日本しか知りませんし、一人暮らしは自分の人生で初めてなので、なかなか慣れませんでした。でも今はだいぶ慣れてきて、生活の楽しさを探しながら時間を過ごしています。

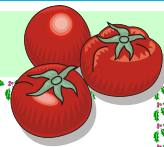
初めての社会人を海外で迎えるのは、大変な事が多いです。でもちゃんと頑張れば頑張るほど、どんな仕事も慣れてきて、楽になることも感じました。

最近は生産部で仕事をしていて、仕事の嬉しさも苦しさもありますが、将来のために、自分の知識を増やして、順調に仕事をしていきたいと思っております。

会宝産業に来て自動車リサイクルについて初めて学びましたが、まだまだこのビジネスモデルは中央アジアには無いです。将来、中央アジアでも必要になっていくと思います。世界を綺麗にするよう、会宝産業から自動車リサイクルの事を学んで自分の国にも持ち込みたいです。



農業の取り組み ~ 農業事業部より ~



「やったー！いっぱいとれたー！！」今年の夏も会宝産業に、子ども達の明るく元気な声が響き渡りました！

第7回会宝リサイくるまつり、会宝農園は昨年に引き続き「流しトマト」でご参加の皆様楽しいひと時を過ごしていただきました！おまつり当日は汗だくになる陽気でしたが、暑い中、来場してくれた子ども達に楽しんで笑顔になってもらえたらと思い、まつりを共に盛り上げてくれたインターンの学生と協力し、元気よくトマトを流し続けました。また農園スタッフの田中も拡声器を片手に「夏の思い出にいかがですか！SNS映えますよ！」など個性あふれるアナウンスでの呼び込み宣伝のため、会場中を練り歩いておりました。

述べ200名を超える方が「流しトマト」に参加してくださり、お客様が会宝農園の「しあわせのトマト」とたくさん触れ合ってくれたことが、とてもうれしかったです。そしてさらに嬉しいのが、とったトマトをすぐ食べてくれた子ども達が口々に「美味しい！」とってくれたことです。お客様の美味しい！ありがとう！の一言が会宝農園スタッフの元気の源となります。

来年の会宝リサイくるまつりでは今年以上に「うまーい！」「あまーい！」の音が更に響き渡るよう、ますます品質向上に努めていきます。（担当：畠中）



☆食欲の秋もトマトを食べて、元気をチャージ♪
【会宝農園インターネットショッピングサイト】
<http://agribalance.jp/>



社員海外レポート



海外事業部の鈴木です。先日、ナイロビ（ケニア）に出張させて頂きました。

目的は弊社が受託したJETRO「アフリカビジネス実証事業」の一環として、現地の自動車リサイクルに関する調査のためです。

私が小学生の頃、1990年代後半、日本でも道端に廃車が捨てられていた記憶がありますが、ケニアでもその光景が当たり前になっています。

日本で生産・使用された車は、のちに遠くアフリカの地に渡り、最終的には川辺で、タイヤ・プラスチック類を燃やし、その残滓と廃油・廃液は垂れ流されます。「リサイクルは大事だ」と言われます。が、市場で有価物とならないモノ（廃棄物）を、適正に処理もしくは資源として再利用するためには、相応のコストが発生します。その費用負担の責任とルールを、国が定めなければ、一部の環境意識のある人たちによる、限定的な努力でしか対処できません。また、悪貨は良貨を駆逐するように、ルールを守る業者が、守らない業者に競争で負けてしまわないように、規制を監視しなければいけません。静脈産業の収益性は、分別収集・再資源化費用、再生資源の市況などに影響されます。新たな再資源化技術や静脈側同士の協調の重要性とその難しさを、日々の業務で勉強させてもらっています。今回、ケニアの環境省・交通省との打ち合わせを通して、こうした日本の先人たちの経験・技術・システムは、とても必要とされているのだと実感しました。



今月のパチリ☆



こんにちは。弊社では高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れています。それは、来てくださる学生の学ぶ機会となるだけでなく、受け入れる弊社にとっても学生の指導経験を通して気づきや学びがあるからです。

先月も3日間ですが、石川県立金沢北陵高等学校の生徒2名がインターンシップに来てくれました。初日の清掃活動から始まって、部品の梱包や登録作業を一生懸命頑張ってくれました。彼らの日報には「1日目よりうまくやれると信じて仕事をしたけれど、昨日の反省を活かせずくやしいです」とか、「新しくする仕事を教えてもらい忙しくなったけど、これを毎日やっている人のすごさに気付いたし、自分もその人に負けないくらい頑張ります」と書いてあり、彼らなりに工夫しながら仕事に取り組んでいる様子がよくわかりました。また、インターンシップを終えて「指導をしてもらって、だんだんと仕事ができるようになって楽しくなりました。仕事ってこういうものなんだと思いました。短い間だったけれど、もう何ヶ月も前から一緒に働いているかのように接してくれました。こんな僕を温かく迎えてくれて本当に嬉しかったです。」と感想を言ってくれ、思わず胸が熱くなりました。「こちらこそ、来てくれてありがとう！」と心から思う、素直でひたむきで素晴らしい2人でした。（担当：松本）



相場情報 ~生産部より~



2017年8月実績

入庫台数 933台

処理台数 830台

こんにちは。会宝産業の山口です。今年は、全国的に天候の変動が激しい夏だったのではないのでしょうか。

さて、相場はというと、鉄・非鉄ともに上昇傾向が強かった月でした。鉄に関しては海外に牽引される形で相場が上昇しましたが、国内の需要は停滞しているために、電炉の値上げは様子を見ながらの段階的な価格変更が多かった印象があります。

一方、非鉄で目立ったのは配線などの銅スクラップでした。欧米の株価上昇や鉄鉱石の値上がり、原油先物相場の反発などが要因となり、投機買いの動きが強まった事が結果的にスクラップまで影響を及ぼしたと考えられます。8月下旬から9月上旬にかけての銅関連の荷動きに注目ですね。

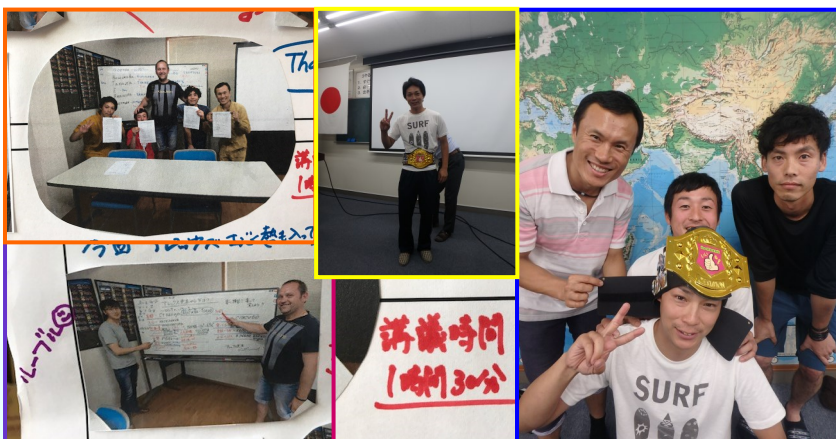


今月のトピックス

~ 第15回 いいねグランプリ ~

先月は第15回目となる「いいねグランプリ」の発表がありました。「いいねグランプリ」とは、お客様の立場に立って「何をしたら喜んでもらえるだろう」とチームメンバーで真剣に考え、全19チームの取り組みを競い合う企画ですが、今回のグランプリは少し視点の違う面白い取り組みでした。今までの受賞作品は「**してあげる**」と言う視点でしたが、今回は「**してもらおう**」と言う発想でした。しかし自分たちの欲求を満たしてもらうための「**してもらおう**」ではなく、相手を尊重し敬う心を持って「僕たちにロシア語を教えてください」と言う「**してもらおう**」でした。

先生役のバイヤーさん(ロシア人)もノリノリで、予定時間をはるかに超え90分の勉強会となりました。勉強会後の業務においても、バイヤーさんとの距離は縮まり、コミュニケーションもより円滑になったとのことでした。常に柔軟な発想を持って、お客様の立場に立つことの大切さを共有できた、いいねグランプリでした。(担当：佐藤)



会宝産業株式会社 国内業務部

住所が変わりました!

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車両課 (車両引取り・査定)

TEL 076-237-5347

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

部品課 (部品注文/担当:大森・角島)

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)

